

声なき声に心、傾ける。…声が聞こえる。



安心して働くための充実サポート
ゆたか福祉会ならではの

5つの強み

01 「人を育てる」安心の
研修システムとキャリアパス

5年後
年収モデル **400万円**+60万円
(生活施設)

02 長く働ける職場づくり
充実の福利厚生

5年間
定着率 **90%**以上 10年間
定着率 **84%**以上

03 障がい分野の大規模法人
幅広い事業展開

35事業所 職員数630名
利用者数1,500名

04 男性も育休取得
育児サポート

女性の育休
取得・復帰率 **100%**

05 創立51年の歴史と実績
みんなの願いをのせて

事業開始 **52**年

リクルート
専用サイト



声なき声に心、傾ける。

…声が聞こえる。

障がい者福祉のパイオニアとして

社会福祉法人ゆたか福祉会は、創業から50周年の節目を迎え、改めて思うのは、障がい者福祉のパイオニアとして築き上げてきた「実績」と「理念」をいかに次の世代へ継承していくか。障がいのある人達とその家族の“願い”を実現するため、まだ何も公的な制度が整っていない時代に、全国で初の「共同作業所」を設立しました。以来、私たちは常に新しいことに挑戦し、事業や実践を切り開いてきました。その活動が、国の制度の礎になった例も少なくありません。日本の障がい者福祉はまだまだ発展途上です。ゆたか福祉会がこれまでに培ってきた歴史に誇りと責任を持ち、今後も障がい者とその家族の方々の様々な要求をもとに、新たな事業を提供し続けていくこと、それが、福祉業界を発展させていくことであり、私たちゆたか福祉会の使命だと考えています。



障がい者福祉…ゆたか福祉会の様々な取組

障がい者福祉を総合的に行っているゆたか福祉会は、障がい分野のほぼすべての事業を行っています。利用している障がいのある人達は約700名、相談事業の利用者も含めると1500名を超える人たちの支援を日々行っています。これらの支援を支えているスタッフは現在630名余となっています。ゆたか福祉会が行っている取組の概要についてお伝えします。

障がいのある人たちの… 仕事と活動を創る

- 就労移行支援事業** 企業で働きたい人の支援(職業訓練や職場開拓)…1ヶ所
- 就労定着支援事業** 企業就職後の支援(企業への訪問や問題解決)…1ヶ所
- 就労継続支援A型事業** 雇用契約を結び最低賃金以上で働く場所の提供…1ヶ所
- 就労継続支援B型事業** 雇用契約はないが高い給料を目指して働く場の提供…7ヶ所
- 生活介護事業** 比較的障がいの重い人達の仕事と活動の場の提供…12ヶ所

障がいのある人たちの… 暮らしを創る

- 地域での暮らしの場の提供** グループホーム(小規模な暮らしの場)…34ヶ所
 - 支援する 地域での暮らしを支える** ヘルパー派遣事業(家事援助・身体介助・移動支援)…2ヶ所
 - 地域で暮らすために訓練事業** 宿泊型自立訓練事業…1ヶ所
 - アパート暮らしを始めた人達への支援** 1ヶ所
 - 共生型生活介護事業** 高齢になった障がい者が通える老人デイサービス…2ヶ所
 - 生活施設(施設入所支援)** 医療などの専門スタッフも配置されている、障がいの重い人たち、高齢になった人たちの生活の場(大規模)…3ヶ所
- 相談し支援に繋ぐ**
- 基幹相談支援センター** 行政区の総合相談の窓口…1ヶ所(緑区)
 - 障害者計画相談事業** 相談と利用可能な福祉サービスの紹介と計画書の作成…5ヶ所
 - 地域移行支援・地域定着支援事業** 病院や施設から地域生活への移行支援と定着支援 社会復帰を支援する事業…4ヶ所



入職後のあなたの仕事は、日常の支援から始めます。
障がいのある人達の、就労・自立に向けたより良い支援を実現するために

同じ時代を生きる仲間として、同じ目線で考えること
今、自分がしていること普通に出来ていることを、支援している相手はどうしたら実現できるか

私達の
テーマ!!

働きかけ、理解する。わかり合えることの魅力
障がいのある人たちの一生に関わる息のながい仕事

障がいがあることによって、生き辛さを感じたり、自分の想いを伝えることが難しかったり。そんな人たちに寄り添って。一緒にとりくむ

安心して働くための充実サポート

ゆたか福社会ならではの

5つの強み

障がい者福祉のパイオニアは ここまでやる!

ゆたか福社会の取組みは利用者支援の質の向上、改革ではありません。働く「職員」をもう1つの主役ととらえ、未経験でも安心して経験を重ね、長く働ける職場づくりにおいても業界をリードしています。

ここでは、福祉に関心ある方から支持されているゆたか福社会の研修制度やキャリアパスシステム、充実した福利厚生など働く皆さんへのサポート体制、5つの強みを簡単に紹介します。

より詳しい説明は当法人Webサイト、説明会、現場見学ツアーにて説明しています。参加方法は本誌ウラ面をご覧ください。



現場を中心に考

01

「人を育てる」安心の
研修システムとキャリアパス



5年後年収モデル **400**万円
+ **60**万円(生活施設)

研修・教育と連動した、キャリアパスシステムがあります。
キャリアに応じて給与も連動して上がっていきます。

基礎研修 未経験、資格無しでも安心の研修、サポート

▶ 1年目 支援の基本の習得

配属事業所には援助担当者が配置され、皆さんの成長をサポートします。



▶ Part I (概ね3年)

職責や経験年数、職種に応じたキャリア形成を図る機会として実施します。

▶ Part II (概ね5年)

福祉の仕事における自分自身の成長を確認し、専門的知識や日々の業務に活用できる力をより培い、成長につなげます。

職務別研修

主任研修

新管理職研修

その他研修

職員研修(全体)年3回

施設別研修

外部研修

海外研修

海外研修…広い視野での学びを重視。毎年、複数名の若手職員を派遣しています。



福祉系でない
学部卒の割合 **55%**

える労働環境がゆたか福祉会

02 長く働ける 福利厚生



5年定着率 10年定着率
90%以上 84%以上

充実した福利厚生で、働く皆さんをサポート。ゆたか福祉会は、ファミリーフレンドリー企業「子育てサポート企業」の認定を受けています。

各種休暇制度

- ・年次有給休暇：**入職後すぐ10日間付与。**
最高年20日間。次年度繰越上限40日。
5日間は時間単位で取得可能。
- ・介護休業のための
年次有給休暇積立：法定の介護休業に加え、30日間は失効年次有給休暇積立の範囲内で有給保障。
- ・特別休暇：結婚休暇、忌引休暇、生理休暇、産前産後休暇、育児休暇、保育休暇など

各種手当

- ・住居手当、扶養手当、通勤手当、資格手当など

各種祝い金制度

- ・結婚、出産、入学、資格取得など

奨学金返済支援制度（新設）

- ・奨学金利用者に対し、返済の補助をします。

健康診断・産業医制度

- ・年1回の定期健康診断とがん検診補助
- ・産業医の助言で職場の安全衛生の推進

退職金制度（2種加入）

- ・長く勤めれば手厚い保障
- ・国共済、県共済

03 障がい分野の大規模法人 幅広い事業展開



35事業所 職員数**630名**
利用者数**1,500名**

障がいのある人たちとご家族の願いを形にし続けていくこと。それが私たちの使命です。

ゆたか福祉会は、1969年前身の名古屋グッドウィル工場をへて、「ゆたか作業所」として名古屋市南区で誕生しました。以降、障がいのある皆さんの働く場を中心に、地域での生活の場づくりを数多く行ってきました。

現在では、障がい分野の地域福祉を担う拠点として、相談支援事業やヘルパー派遣事業なども行う障がいのある方々の就労と生活を支える総合的な事業体となっています。現在は高齢分野のデイサービスやグループホームなどの事業も行っています。

名古屋市を中心に、北名古屋市や設楽町に展開

【障がい分野】

- ▶生活施設 3ヶ所
- ▶短期入所 3ヶ所
- ▶グループホーム 34ヶ所
- ▶日中活動系事業所（作業所）11ヶ所
- ▶宿泊型自立訓練 1ヶ所
- ▶ヘルパー派遣事業 2ヶ所
- ▶障がい児者相談支援事業所（計画相談）6ヶ所
- ▶障がい児者基幹相談センター（委託）1ヶ所

【高齢分野】

- ▶居宅介護事業所（ケアプラン作成）2ヶ所
- ▶高齢者デイサービス事業 2ヶ所
- ▶認知症対応グループホーム 1ヶ所

04 男性も育休取得 育児サポート



女性の育休取得率**100%**

女性職員は100%、男性職員にも育児休業取得実績があります。利用者の人生を支える職員の、職員の長い人生を支えるのがゆたか福祉会です。

子育て支援制度（正規職員の場合）

- ・産前産後休暇：産前8週～後8週取得可能（法定以上）
- ・育児休業制度：育児給付金と合わせて給与の8割を保障。
- ・その他の子育て支援制度：
保育休暇、育児時間制度など

05 創立52周年の歴史と実績 みんなの願いをのせて



事業開始**52年**

1969年の事業開始から半世紀。歴史と実績のある社会福祉法人です。

「働く場づくり」から、願いは「親亡きあとの寮づくり」へと広がります。仕事も自主製品やリサイクル事業へと発展します。暮らしの場も24時間365日の生活施設やグループホームと、年齢や障がいに応じて選べる暮らしを実現してきました。ゆたか福祉会は、常に新しい「障がい者福祉の向上」に挑戦しています。

Staff Voice

やりがいと高い社会性の障がい者福祉 知って欲しい 高度な福祉の世界

ここでは、日本の障がい者福祉のリーディングカンパニーとして分かりやすい実績と具体的にどのようなことに挑戦しているのか、生の声を一部紹介します。ゆたか福祉会の歴史、利用者一人ひとりの人生、職員のカリキュラムアップが織りなす、「ゆたか(豊か)に生きる」が広がっています。過去から現在、そして未来へ向かって。



ゆたか福祉会は、障がい分野の様々な事業を展開しています。ひとくちに障がい者の支援と言っても、障がい種別も様々です。主なものだけでも、知的、身体、精神、発達障がいなど。対象となる人たちも子どもから成人、そして高齢障がい者まで、年齢も違うので支援の内容ももちろん大きく違います。事業内容も働くことの支援、暮らしの支援、相談支援と事業によってその専門性は大きく変わります。例えば働くことの支援では、福祉のスキルだけでなく、生産管理や営業的な専門性も求められます。また、相談支援事業に関わるスタッフは、障がいだけでなく福祉全体の総合的知識と調整力、問題解決の力量が求められます。総合職として採用した職員は、入職後それぞれの事業分野に分かれて配属され、経験を積み重ねていきます。定期的な事業所間の転勤もありますので、その分野のプロとして専門性を追求しながらキャリアを重ねていきます。そんな先輩たちの姿を紹介します。

祖父母と同居して育ったこともあり、将来は「高齢者に関わる仕事がしたい」と思っていました。その思いから進学した福祉大学のボランティア活動で、初めて知的障がいのある方と接する機会がありました。当時は「福祉＝高齢者」というイメージしか自分の中になかったので、「こんな福祉の形もあるんだ」と少し衝撃でした。ボランティア活動の際に、知的障がいのある方が見せる嬉しい時の表情や純粋な言動、明るい雰囲気にとっても興味を持ちました。それから「もっと知的障がいのことを知りたい」と思うようになり、グループホームでアルバイトをしたり、施設見学やボランティア活動に参加している中で、当法人のつゆはし作業所を知りました。これまでの施設では、知的障がいのある方の生活の場ばかりを見ていたため、働く場は初めてだったのですが、障がいの重さに関わらず、みなさん良い商品を提供したいという思いで一生懸命取り組む姿勢にとても感動しました。そして、作業所の利用者の皆さんやスタッフの方々温かく接してくれることが嬉しく、「ここで働きたい」と決意しました。

障がいのある方に対しての法整備が徐々にされてきてはいますが、実際は障がいのある方々に関わったことがないという人がほとんどだと思います。私自身も、大学のサークルで知るまでは、あまり考えたこともないというレベルでした。しかし、「関わったことがない、知らない」というだけで、障がいのある方を怖がりたり抵抗を持ってしまうのは残念なことだと思います。この仕事に従事するか否かではなく、とにかく多くの方に知ってもらいたい。そのために、利用者さんと地域の方が日常的に触れ合う機会を増やしていきたいと思っています。以前はお祭りもあつたりしたのですが、今はそういうイベントもだんだん減っています。防災訓練や地域清掃くらいはありますが、どんな小さなことでもいいので、地域と交流できるようなイベントを企画し、こちらからどんどん発信していきたいと思っています。そして、いずれ、利用者さんたちと喫茶店などを開いたら最高ですね。



T.Kさん 2010年入職
日本福祉大学 卒業

障がい者福祉のプロとして 声なき声に心傾け、未来を切り拓く。



生活支援員から相談支援専門員へ キャリアアップに溢れる 法人規模

学生時代、いろいろな障がい児施設を訪問しました。通園施設や、ヘルパーのアルバイトをしたり。障がいのある子どもに触れるうちに、この人たちの大人の姿、高齢期から看取りまでの生活にも「深く関わってみたい」と思うようになりました。

そして入職。希望通りに障がいのある人たちの生活施設「ゆたか希望の家」で働くことになりました。日中の作業を支援したり、お風呂や食事などの生活を支援したり、一人ひとりと密に関われるのが大きなやりがいになりました。

現場で5年働いた後、「もっと広い視野をもって仕事をしたい」と思い、異動を希望。相談支援事業所への配属となりました。まずは相談支援専門員の資格取得を目指し、研修を受講。他法人の職員さんとグループワークをする中で、地域によって社会資源の違いがあることを実感しました。大切にしていることは、利用者さん宅へ訪問し、ご本人とご家族の話をじっくり聴くことです。日々、役所や地域の人々とのやりとりを通して、視野が広がっていくのを感じています。

ゆたか福祉会は、たくさんの事業・施設があるので、利用者さんの生涯を通じた息の長いサポートができること、自分にあった職場・職種が見つかることなど、大きな事業体ならではのメリットを感じています。私のように新しい世界や成長できる環境を求める人にはピッタリです。やりたいことが決まっていない人も、ゆたか福祉会の中で輝けるフィールドを見つけられますよ！



H・Mさん 2012年入職

愛知淑徳大学 卒業



Y・Mさん 2019年入職

名城大学 卒業

福祉系学部出身でなくても大丈夫！ 必要としてもらえるって 嬉しい

小学生の頃から年に一回ゆたか福祉会の作業所で行われている「ふれあい祭り」に参加しており、利用者さんの優しさに触れ、この仕事に興味を持ちました。

障がい者福祉の先駆的存在であり、尊敬できる法人だということ。結婚、育休後も働ける環境が整っているところ。充実した研修が受けられるところ。障がい者福祉の中でも作業所やホーム、生活施設など自分のやりたい分野の仕事が選べる。と魅力が多かったため、ゆたか福祉会を志望しました。

入職してからは、不規則勤務のため、家事をする機会が増えたことで自活できるようになったこと。仕事と家事の両立が大変なことに気が付き、改めて親のことを尊敬するようになったこと。など自分の成長も実感しています。

その人にとってどのような支援が必要なのか、何を求めているのかを考える力や気付きの視点が大切であり、自分が成長していかなければならないと感じています。支援については悩むこともありますが利用者さんが楽しそうに「こういうことがあったんだよ！」「今日はMさんなんだ！」と話してくれたり、自分を必要としてくれているのかなと感じられる時に「この仕事っていいな！」と思います。

私は、福祉系の大学出身ではありませんが、現在この仕事で働いています。一度、見学や実習にきてみてください。利用者さんの優しさに触れ、仕事の内容を見て、福祉の世界に興味を持ってもらえたら嬉しいです。悔いのないように就職活動頑張ってくださいね！

新規事業開拓。 障がい者の仕事開拓は面白い！ 商品企画や販売、営業も

大学ゼミの先生に勧められ見学しました。職員と利用者との明るい雰囲気すごく印象に残り「自分の性格にマッチしているな」と思い、入職しました。1年目は若い利用者さんと一緒に、自動車部品の簡単な組み立て作業を担当。2年目からは比較的障がいの重い人たちの軽作業を行っている班で諸々のサポートやレクリエーションに携わっています。

新人職員として仕事を覚え、取り組んでいく一方で、新規事業の立ち上げにメインの担当者として関わっています。以前行っていた事業を廃止したこともあり、新事業を開拓しようというものでした。ネットで情報を集めて専門家を訪ねたり、研修会や勉強会に参加したり、実際に事業を行っている北海道の事業所まで視察に行かせてもらいました。視察には「大切な取組みだから」と理事長も同行され、夜

は食事をしながら「熱い」お話を聞かせてもらいました。

現在は、一部商品化しラッピングのデザインを考えたり、販売していただけるお店を開拓、PRしています。売れなければ事業は撤退。まさか福祉の職場でこんなビジネスをすることになるなんて意外でした。

福祉に関するだけでなく、経営、デザイン、製造技術等々、どんな勉強をしている人でも力を活かせる土壌がこの仕事にはあると思います。1年目でもやる気があれば、どんどん挑戦させて任せてくれるのも嬉しいことです。



O・Mさん 2016年入職

日本福祉大学 卒業

産休・育休中の 給与保障に安心 長く働ける職場を実感

大学では福祉系の勉強をしていたのですが、一般企業に就職。でもやっぱり合わなくて半年で退職してしまいました。改めて福祉の仕事をしように応募したのが、ゆたか福祉会です。当時「トライアル入社」というカタチで採用していただき、職場に慣れた半年後に正規職員となりました。採用面接で「企業での半年の仕事でも、立派なキャリアだよ！」と認めてもらったことにも感動しました。

入職当初は「結婚したら退職するんだろうな」ぐらいの気持ちでいたので、同僚が「結婚しても働き続ける」と宣言しているのを聞いて心が揺れました。実際、結婚すると、利用者さんから「結婚したら辞めちゃうの？辞めないでね！」と懇願され、自分を必要としてもらえていることが本当にうれしく、結婚・出産を経た今も働き続けています。

育児休暇も1年7ヶ月たっぷり取りました！ゆたか福祉会は育児休暇中の給与保障も手厚いです。安心して休んで十分な期間、子どもと向き合えたので、仕事復帰にあたって気持ちもしっかり切り替えることができました。ゆたか福祉会は人を大切にしてくれます。

上司や同僚に支えられ、仕事と家庭を両立しています。小学校までの保育休暇制度もあるんです。子どもが長く入院したときに「お互い様だから」と職場の皆が心配して声をかけてくれたことが、何よりもうれしい出来事でした。



M・Rさん 2011年入職

中京大学 卒業

私たちの目指す未来 Yutaka's Vision

ゆたか福祉会が めざすもの

- 1 障がいのある人たちの“いのちとねがい”を大切に、社会への参加とゆたかな暮らしの実現をめざします
- 2 誰もが安心して暮らせる地域をつくるため、たくさんの“つながり”を築き上げていきます
- 3 ゆたかな笑顔と人間性を育み、関係者の創意を活かすとともに、社会から信頼される経営をめざします



5:5
管理職男女比



5.2時間
月平均残業時間

バイオニアの誇りと覚悟 求める人物像

“人間へのやさしさや人権意識がしっかりしている人”

いくら知識があっても、人を理解したり、共感したりできなければ意味がありません。そのため、当法人では1次試験後には実際の現場で数日の現場体験実習を行っていただきます。障がい者福祉という仕事について、それぞれが思い描いていたものと入職後のミスマッチがないよう、ゆたか福祉会の理念、仕事との向き合い方を知ってもらいたいからです。知識や資格は入職後にしっかりと積み上げていってもらえれば問題ありません。

- 障がいのある人とそのご家族と向き合い、
- 問題や課題について一緒に考え、
- その解決に向け皆とともに自ら働きかけていける
“積極性”と“行動力”のある人材です。



次世代を切り拓くみなさんへ メッセージ

ゆたか福祉会のモットーは、障がいのある人たちの「人間として生きる権利の実現」を支援していくことですが、その障がいのある人たちを支えるスタッフの権利も、同じように大切に考えています。資格取得に向けてのサポートはもちろん、休日や給与などの福利厚生においても力を注ぎ、「子育てサポート企業」の認定や「次世代認定マーク」の取得、また、新入職員についての有給休暇制度の見直しをはかるなど、スタッフ一人ひとりにとって「働きやすい職場づくり」を目指し、常に改善し続けています。「ゆたか福祉会」の考え方を理解し、福祉人として、人間として共に成長していける仲間を私たちは全力でサポートします。百聞は一見にしかず。ゆたか福祉会に興味のある方、障がい者福祉の分野に興味のある方は、ぜひ、一度見学に来てください。

社会福祉法人

ゆたか福祉会



YutakaFukushikai

TEL 052-698-7356

FAX 052-698-7358

URL www.yutakahonbu.com/

エントリー方法

当法人採用サイトより「受付中の採用試験」から希望の日程をお選びいただき、ENTRYフォームよりご応募ください。エントリー後に履歴書を郵送ください。当法人より連絡致します。

履歴書送付先

〒457-0852

名古屋市中区泉楽通四丁目5番地3

社会福祉法人 ゆたか福祉会 法人本部 採用担当

アクセス

〒457-0852

名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3

*駐車場がありますので、お車での来場も可能です。

「まずは、説明・見学だけでも」と言う方

公式サイトからエントリー!

説明会&施設見学会 随時受付中

